

# 熊本県感染症情報 (第37週)

県内154定点医療機関からの報告数 9/12～9/18

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	7	3
2	RSウイルス感染症	30	36
3	咽頭結膜熱	4	1
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2
5	感染性胃腸炎	185	159
6	水痘	1	2
7	手足口病	98	87
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	1
9	突発性発しん	23	21

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	32	20
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	3	0
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	0	4
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	0
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

## 【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

### 感染性胃腸炎

報告数: 185件 (前週: 159件) 地区別: 菊池、有明、御船、熊本 年齢別: 1歳 44件 (23.8%)

### 手足口病

報告数: 98件 (前週: 87件) 地区別: 菊池、熊本、御船 年齢別: 1歳 37件 (37.8%)

### ヘルパンギーナ

報告数: 32件 (前週: 20件) 地区別: 菊池、天草、有明 年齢別: 1歳 10件 (31.3%)

## 【2022/2023シーズンのインフルエンザについて】

今週(第37週)の県内のインフルエンザ報告数(県内80定点医療機関からの報告)は、7件(1定点あたり0.09)でした。新型コロナウイルス感染症が流行してから2年半以上インフルエンザの流行はありませんが、南半球のオーストラリアでは例年よりも数ヶ月早くインフルエンザの流行が確認されたことや東京都内の小学校で学年閉鎖があったことから注意が必要です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする急性気道感染症です。おおむね1～3日を潜伏期間とし、38以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が突然現れます。下痢や嘔吐など消化器症状が見られる場合もあり、通常のかぜに比べて全身症状が強く出やすいことを特徴とします。

シーズン	流行入りした週(※1)	注意報レベルに達した週(※2)	警報レベルに達した週(※3)	累計患者報告数(9月第36週～翌年第14週)
2021～2022	流行なし	-	-	4
2020～2021		4		
2019～2020	令和元年 第43週(R1.10.21～10.27)	令和元年第49週	警戒レベルに達する前に注意報解除	14,790
2018～2019	平成30年 第49週(H30.12.3～12.9)	平成30年第51週	平成31年第2週	24,218
2017～2018	平成29年 第47週(H29.11.20～11.26)	平成29年第50週	平成30年第2週	34,574
2016～2017	平成28年 第50週(H28.12.12～12.18)	平成29年第2週	平成29年第4週	22,922

インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンとは、同時接種が可能です。

今冬シーズンのインフルエンザワクチンは十分な供給量が見込まれています。

重症化予防のため、インフルエンザワクチンの接種をご検討ください。

#### 【国が定める基準】

- 1 流行入り・・・定点あたりの患者報告数 1.0
- 2 注意報レベル・・・定点あたりの患者報告数 10
- 3 警報レベル・・・定点あたりの患者報告数 30

## 【感染防止対策】

### 予防接種

インフルエンザの予防接種は感染や発症そのものを完全に防ぐことはできませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果があります。予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、医師と相談のうえ、予防接種の検討をしてください。

### 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみの際に口から出る小さな水滴(飛沫)による飛沫感染です。普段から、咳エチケット守ることを心がけましょう。

- 咳エチケット 咳やくしゃみを他の人に向けて発しない
- 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをする
- 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う

### 外出後の手洗い

流水・石鹸による手洗いは手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触感染を感染経路とする感染症対策の基本です。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。

# 熊本県感染症情報 (第37週)

報告期間	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	第34週	第35週	第36週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	7/25~7/31	8/1~8/7	8/8~8/14	8/15~8/21	8/22~8/28	8/29~9/4	9/5~9/11	9/12~9/18	8/22~8/28	8/29~9/4	9/5~9/11
インフルエンザ	0	0	3	10	2	0	3	7	137	140	133
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.04	0.13	0.03	0.00	0.04	0.09	0.03	0.03	0.03
咽頭結膜熱	9	10	5	22	27	14	36	30	3,873	4,518	4,978
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.18	0.20	0.10	0.44	0.54	0.28	0.72	0.60	1.24	1.44	1.60
感染性胃腸炎	10	6	8	4	3	1	1	4	230	218	186
水痘	0.20	0.12	0.16	0.08	0.06	0.02	0.02	0.08	0.07	0.07	0.06
伝染性紅斑	3	4	8	6	3	3	2	3	660	871	894
突発性発しん	0.06	0.08	0.16	0.12	0.06	0.06	0.04	0.06	0.21	0.28	0.29
ヘルパンギーナ	169	148	107	188	155	167	159	185	6,013	6,603	6,704
流行性耳下腺炎	3.38	2.96	2.14	3.76	3.10	3.34	3.18	3.70	1.92	2.1	2.15
急性出血性結膜炎	1	7	1	1	7	1	2	1	149	168	156
細菌性髄膜炎	0.02	0.14	0.02	0.02	0.14	0.02	0.04	0.02	0.05	0.05	0.05
無菌性髄膜炎	49	39	38	35	47	64	87	98	10,397	11,733	11,774
マイコプラズマ肺炎	0.98	0.78	0.76	0.70	0.94	1.28	1.74	1.96	3.32	3.74	3.77
クラミジア肺炎	0	4	2	0	1	1	1	1	16	47	58
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.08	0.04	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02
	22	29	21	32	16	25	21	23	734	839	847
	0.44	0.58	0.42	0.64	0.32	0.50	0.42	0.46	0.23	0.27	0.27
	9	10	13	8	16	21	20	32	2,465	2,782	2,749
	0.18	0.20	0.26	0.16	0.32	0.42	0.40	0.64	0.79	0.89	0.88
	1	1	0	0	1	0	0	3	94	96	111
	0.02	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.06	0.03	0.03	0.04
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
	6	5	6	6	5	3	4	0	143	151	130
	0.67	0.56	0.67	0.67	0.56	0.33	0.44	0.00	0.21	0.22	0.19
	0	0	0	1	0	0	0	0	11	8	7
	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.01
	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6	5
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01
	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4	5
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.01	0.01
	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00
	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

## 【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

- 3類感染症  
腸管出血性大腸菌感染症: 1件(今年18件)
- 4類感染症  
日本紅斑熱: 1件(今年15件)
- 5類感染症  
カルバペネム耐性腸内細菌感染症: 1件(今年12件)  
梅毒: 2件(今年145件)  
百日咳: 1件(今年6件)

### 参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計  
(令和4年(2022年)9月18日現在)  
令和4年(2022年) 18人(患者:12人 無症状病原体保有者:6人)  
昨年同期 23人(患者:16人 無症状病原体保有者:7人)

## 【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

( 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報には1週間までの内容になります。 )

## 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

手足口病 : 菊池

## 【 病原体検査情報 】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。  
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

### インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2022/23シーズン(R4.9/5~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	0件	0件	0件	0件

### 呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
25件 (41件)	6件 (4件)	0件 (7件)	0件 (0件)	0件 (9件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
1件 (1件)	5692件 (1530件)				

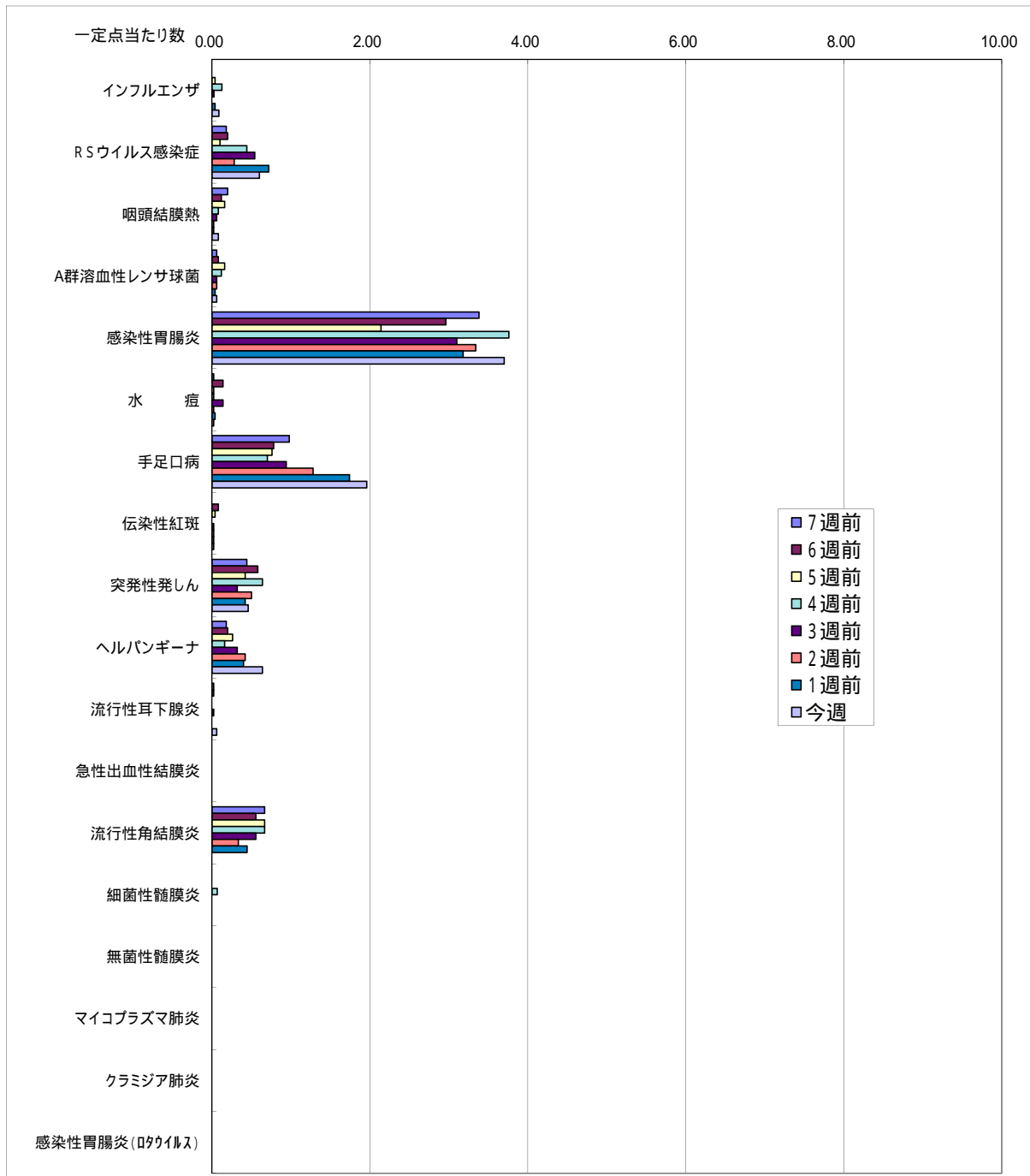
( カッコ内は昨シーズン累計 )

### 感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (3件)	2件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	2件 (1件)	0件 (4件)

( カッコ内は昨シーズン累計 )

### 一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。



